



第 11 回ネパール口唇口蓋裂医療支援 専門家派遣事業

プロジェクト ミッション

口唇口蓋裂手術のための専門家派遣事業を通し...

1. その外見により失われた人間としての尊厳の回復を実現します。
2. 現地の人々が現地の人による現地の人のための口唇口蓋裂医療が将来可能となるよう、自立を視野に入れた支援をします（技術移転、医療環境整備など）
3. 日本人参加者へ国際協力に必要な知識と技術を習得する場を与えます。
4. 日本社会に隣人支援への啓発を行います。

事業期間： 2005 年 04 月 01 日 ~ 2006 年 2 月 28 日

医療チーム派遣期間： 2005 年 11 月 27 日（日）~ 12 月 14 日（水）

事業実施場所： ネパール王国カブレ郡バネパ市 ADRA Center

事業実施機関： 特定非営利活動法人 ADRA Japan 理事長 白石 尚

受け入れ機関： ネパール王国保健省 ADRA ネパール支部

受注・手配： 株式会社 西遊旅行

総予算： 1,200 万円（資金源：日本郵政公社国際ボランティア貯金、財団法人 日本国際協力財団、CLPP 指定寄付金、事業参加費、一般寄付金）

決算報告書： 2006 年 3 月より公開予定（要請に応じ中間会計報告書を随時発行）

ボランティア派遣協力（敬称略・50 音順）：

昭和大学藤が丘病院	独立行政法人 国立病院機構 千葉医療センター
社団法人 北里研究所 北里研究所メディカルセンター病院	昭和大学横浜市北部病院
医療法人社団熊本丸田会 熊本リハビリテーション病院	千葉県救急医療センター
かまとり武田肛門科・胃腸科	千葉大学医学部附属病院
帝京大学医学部附属市原病院	愛心会 湘南鎌倉総合病院
東京衛生病院	

医療後方支援：

東京衛生病院・医療コーディネーター派遣（看護師）、薬剤等購入手続き業務

ADRA Japan医療チーム構成

添付資料

無

形成外科医 全期間：3 名

麻酔科医 前半：1 名 後半：2 名 全期間：2 名 計 5 名

看護師 11 名 薬剤師 1 名

社会人ボランティア 1 名 専属通訳 2 名

ADRAスタッフ 3 名

合計 26 名

（前半組み 11 月 27 ~ 12 月 4 日・後半組み 12 月 4 日 ~ 12 月 11 日）



事業管理体制

添付資料

無

事業責任者	石井 光男	ADRA Japan 事務局長
プロジェクト統括	青木 信幸	ADRA スタッフ
Medical Coordinator	石川 雄二	東京衛生病院看護部師長
General Coordinator	藤本 純子	ADRA スタッフ
広報・国内対応	橋本 笙子	ADRA スタッフ

現地医療日程

添付資料

無

日付	C L P 治療 (ADRA Center)	技術研修・その他	手術数
11月28日 (月)	手術室・病棟体制の設営 ネパールスタッフと顔合わせ		
11月29日 (火)	診察 口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修 術前症例検討会	4
11月30日 (水)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修 SMH 視察 (次年度事業準備)	6
12月01日 (木)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修 火傷患者術前検討会	6
12月02日 (金)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	7
12月03日 (土)	回診	夕パ医師による C L P 治療 (I C N M H)	2
12月04日 (日)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	6
12月05日 (月)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	5
12月06日 (火)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	6
12月07日 (水)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	5
12月08日 (木)	口唇形成術・口蓋形成術他	公開手術・若手医師研修	3
12月09日 (金)	回診・抜糸	B&B 病院での技術交流 若手ネパール人医師への終了式	1



12月10日 (土)	回診・抜糸・片付け 舌弁手術	若手医師研修	2
12月11日 (日)	回診・抜糸・片付け	KCHでの技術交流	2
12月12日 (月)	回診・抜糸・片付け	TUTHでの技術交流 小耳症のプレゼンテーション	1
12月13日 (火)	回診・抜糸・片付け		

SHM : Sheer Memorial Hospital in Banepa / KCH : Kanti Children's Hospital

TUTH : Tribhuvan University Teaching Hospital

ICNMH : Ishan Children's Nursing and Maternity Home

2005年度医療活動まとめ	
口唇口蓋裂手術（内ネパール人医師2件）	49件
舌弁手術	2件
火傷手術*	1件
尿道下裂手術*	1件
その他形成手術	3件
ネパール人医師視察・指導	計6名
公開手術	随時
出張手術（CLP治療1件と*の治療）	3件

今後の展開

添付資料

無

ネパールにおける口唇口蓋裂医療の課題は大きく分けて、「患者」、「医療サービス提供者」、「行政」の三分野に分けられる。それらを取り巻く、ネパール特有の価値観や貧困、政治の腐敗といった複雑な問題がそれぞれの立場を一層難しくしているが、そんな中、ADRAは事業創設当時（1995年）から一貫して「患者」へのアプローチとして患者に焦点を当て、差別を受け世間から隔離して生活している患者や治療費が払えない患者、又その家族への支援を行ってきた。第2段階（2000年からの5年間）では現地医療従事者への技術移転などを積極的に取り入れ「医療サービス提供者」側のニーズにも応えてきた。

段階別の実施計画概要 (2004年 Revised)	
第一段階	5年計画による患者治療と事業環境の構築
第二段階	患者治療と現地形成外科医の育成
第三段階 (改正後)	患者治療とCLP環境の支援 * 環境：若手医師の育成支援 ：ネパール人主導型CLP治療体制の具体化

第3段階(目安として2005年度以降5年間)として「日本人医師常駐による継続的な人材育成」、その具体案として技術指導の受け皿ともなる「形成外科医協会(CLPに特化か否かは未定)」の設立といったものがあつたが、2004年のCLP Consultative Forumでの話し合いの内容により(詳細は2004年完了報告書を参照)以上のような内容で、今年(2005年)から取り組んでいくこととなった。この「環境」を整える、若しくは「行政」へのアプローチが必要とされている。NGOとして行政へのアプローチには限界がある。草の根的な働きを通してこれらに変革を起こしていくには、やはり、現場の人間である医療従事者のネパール人医師が自ら立ち上がり、自らのビジョンをもとに、自立可能なネパールCLP治療のためのアクションを起こしていくことである。

	1995-97	1998-2000	2001-2003	2004-2006	2007-2010
第一段階					
第二段階					
第三段階					

来年への方針として(提言)

<自立支援>

1. 引き続きのベテランネパール人医師との技術交流を通し、...
 - ・日本人とベテランネパール人医師との信頼関係を構築する
 - ・若手医師を研修に派遣してもらえよう継続協力を獲得する
 - ・ベテランネパール人医師が抱えるCLP治療に対するビジョンを確認する
 - ・そのビジョン実現に向けて具体的に何が出来るか検討する

技術交流の具体的な方法として

- ・カトマンズや地方病院での出張手術
 - ・ベテランネパール人医師によるネパールCLP治療の紹介(技術・現状)
 - ・日本人医師によるネパールCLP・形成治療の紹介(技術・現状)
2. 過去の患者調査
 - ・開発的視点から過去の患者への調査を行い、今後必要とされる支援内容を患者の視点から構築する



<治療・技術指導型支援>

1. 子供（小学校入学前までの年齢層）を主体とした CLP 治療の提供
2. 若手ネパール人医師への ADRA センターでの CLP 治療個別技術指導
 - ・今年参加した若手医師との事前連絡による日程の紹介と招待
 - ・CLP 治療において特に興味のある症例の事前確認
 - ・術前症例検討会の実施（初日、随時）
 - ・術後症例討論会
 - ・研修プログラムのマニュアル化と研修生に配布
 - ・修了証書と形成外科手術セット進呈の定義化
3. 乳幼児治療（手術・看護）における技術指導

短期的支援として

1. 患者招待型治療のソフト化（バナパ）
 - ・患者への治療（ネパール人医師・看護師の育成）
 - ・同伴する親への CLP 術後管理の指導と保健衛生教育
2. 患者治療環境の整備
 - ・CLP 治療の宣伝
 - ・患者確保システムを VDC と協力して構築
 - ・Community Trust による自助努力治療費の捻出

中期的支援として

1. 短期的支援で構築したソフトを遠隔地医療機関において適応しキャパの向上に貢献
2. 随時、遠隔地医療機関への適応していく

長期的支援として

1. ネパール人による自己完結型 CLP 治療環境の構築

（事業統括 青木）

ADRA Nepal	責任者： Mark Webster Banepa, Kavre (PO Box 4481 Kathmandu, Nepal) Tel: +977-11-663704 or 661635 Fax: 661886
ADRA Japan	責任者： 石井 光男 事業統括： 青木 信幸 〒150 - 0001 東京都渋谷区神宮前 1 - 11 - 1 Tel: +81-3-5410-0045 Fax: 5474-2042

ADRAに関する情報 HQ: www.adra.org 日本: www.adrajpn.org

Prepared by Nobuyuki Aoki, Program Coordinator of ADRA Japan